



—旭区地域福祉保健計画—

発刊にあたって

このたび、多くの区民の方々のご協力により「きらっとあさひプラン」—旭区地域福祉保健計画—を策定いたしました。計画策定にあたり、ご尽力、ご協力いただきました皆様には、この場をお借りして心からお礼申し上げます。

この計画は、平成16、17年度の2年間にわたり、各地域で地域懇談会を開催するなど地域の皆様を中心となって熱心に話し合いを進め、健康でしあわせな生活を送るために、日常生活の中でふと感じていること、考えていることなどについて共有し、できることから地域の中で具体的に取り組んでいくことを主な内容としております。

今回の計画づくりを通して、地域の皆様の「より住みよいまちにしていこう」、「地域の問題は、自分達の積極的な取り組みを通じて解決していこう」との地域への熱い思いを強く感じることができました。また、ご近所付き合いが希薄になりつつある昨今ではございますが、様々なコミュニケーションの場が持たれ、自治会町内会の関係者・中高校生・高齢者・子育て中の方々などといった多世代の皆様の交流ができたことも一つの成果であると思っております。

旭区は、横浜市18区の中でも高齢者人口の最も多い区であり、福祉保健に対するさまざまなニーズも高く、地域福祉保健に関するボランティア活動が活発に展開されている区でございます。

「きらっとあさひプラン」の策定がこれら旭区の地域福祉保健活動のさらなる発展への契機となることを期待しております。また、同時に、この計画は策定したことで目標が達成されたものではありません。ひとつひとつの地域課題をそれぞれの地域が区役所や区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと連携しながら具体的に取り組み、解決していくことが重要と考えております。

地域の視点に立って区民との協働によるまちづくりを進めている旭区といたしましても、区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等諸関係機関とともに地域の皆さんの取り組みを一生懸命支援してまいります。

さあ、「きらっとあさひプラン」がスタートします。「すべての区民が住み慣れた地域で健康でしあわせな生活を送れるまち、旭区」をみんなで実現しましょう。